

## 1. 基本的な考え方

外国人観客を含めた観客の取扱いについて、今後の国内外の感染状況や、我が国と海外との往来に係る状況、スポーツイベントの開催状況等を踏まえた検討を、以下に示す通り進めてはどうか。

## 2. 観客数上限の考え方

- 内外の感染状況や現在行っている観客数を引き上げた場合の実証の結果なども踏まえ、国内の上限規制に準じることを基本とする。
- 最終的な決定は、来春までに行う。

## 3. 外国人観客の取扱い

- 外国人観客の取扱いは、「観客の安全」と「地域の安全」の両立を図る観点を踏まえ、検討する。
- 外国人観客については、2週間隔離・公共交通機関不利用を条件とすることは、観戦を事実上困難とするものであることから、これらと同程度の防疫措置を構築する観点到立ち、以下の対策を検討する。
  - (ア) 入国時点までの外国人観客の安全性を確認するため、十分なスクリーニングを行う仕組みとすること。
  - (イ) 入国後に、外国人観客に適切な行動管理・健康管理を求める仕組みとするとともに、感染又はその虞がある場合に、当該ケースを迅速に把握し、適切な隔離など医療面の対応等が行える体制を構築する等、実効的な仕組みとすること。
  - (ウ) 各国の感染状況等を踏まえ、2週間隔離の維持も含めリスクに応じた適切な防疫措置を講じること。
- 上記を踏まえ、入国前の検査・健康管理、入国時の検査・誓約書等確認、入国後の行動管理・健康管理、隔離などの医療面の対応、実効性の担保方法等について、感染症の専門的知見も踏まえつつ、具体的検討を進める。
- 具体的な措置の内容については、今後の国内外の感染状況、我が国の海外との往来に係る状況、スポーツイベントの開催状況等を考慮し、来春までに決定する。

## 4. 競技会場・ラストマイルにおける感染症対策について

（資料3-2, 3-3参照）

## 5. 観客に体調不良者が発生した場合の対策

- 競技会場で発熱等の体調不良者が発生した場合に一次的に対応する者・場所を確保するとともに、一次的な対応、観客用医務室での対応、関係医療機関への搬送等について手順を策定する。
- 後日、周辺の座席の観客に感染が判明した場合に対応するため、チケットの保管や座席位置の記録など観客に求めるルールを策定し、観客向けガイドラインに盛り込み周知・徹底する。
- 陽性の観客等からの相談への対応、入院・療養する医療機関・宿泊施設等の確保等のため、東京都、国、都道府県、組織委員会との間で連携体制を構築する。